

前へ

岐宿中学校だより
文責：都々木

五島市中総体結果

「悔しさ」や「挫折」は人を大きく変える。悔しさと挫折の度合いは、「努力」の量と比例する。
(激励式より)

五月二十六日(日) 予定されていた全競技が開催され、岐宿中学校からは、軟式野球、女子バスケットボール、女子バレーボール、男女剣道、男女柔道の五競技に参加しました。結果は左記の通りです。

【団体 優勝】 男子剣道部 ☆2連覇です!

【団体準優勝】 女子バスケットボール部

【個人 優勝】 柔道男子81kg 今島 治豊さん

柔道男子50kg 山下 克弥さん

柔道女子52kg 木場 彩さん

剣道男子 畑中 雄真さん

【個人準優勝】 柔道男子50kg 窄頭龍之介さん

【個人三位】 剣道女子 前川 彩乃さん

◎県中総体の予定

・剣道 7/27(土) 森山スポーツ交流館(諫早市)

・柔道 7/27(土) 県立総合体育館(長崎市)

・陸上 7/27~28

トランスコスモスタジアム(諫早市)

※詳細な日程は、各部で御確認ください。

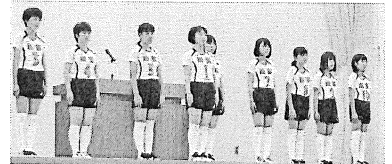
【資質・能力】コーナー

今回は、他者との協働性。

今回は、他者との協働性。部活動でのこと。2年生のHさんが不機嫌そうな顔をして練習しています。「どうした?」とたずねたとたんに、顔をくしゃくしゃにして泣き出します。すかさずKさんが「私が説明します。」

泣いていた理由は、「あと少ししか3年生と一緒に部活動ができないと考えたら、寂しくて泣けてきた」とのこと。二十日(月)の激励式の日のものでした。

他と協力し合ったり、励まし合ったり、対立したり...。Hさんが、部活動をおして協働する喜びを学んでいる証だと感じたひとコマでした。



行事予定

- 一日(土) 文化部岐宿園訪問10:00~
- 四日(火) 陸上大会激励式15:30~
学校支援会議19:00~
- 九日(日) 市中総体陸上競技大会
- 一〇日(月) 振替休業日
- 十一日(火) 心を見つめる教育週間(17日)
- 十二日(水) 道徳授業公開⑤
- 十三日(木) テスト前部活停止(20日)
- 十四日(金) 生徒総会⑤⑥
- 十六日(日) 家庭の日
- 二十日(木) 期末テスト
- 二十一日(金) 期末テスト
- 二三日(土) バラモンキング
- 二五日(火) 二年生職場体験(27日)

【雑感】毎朝、校門であいさつに立っていると、いろんなほほえましい光景に出会う。3人の我が子が男の子ばかりのせいかな、特に兄妹むつまじく登校してくる様子には自然と顔がほころぶ。時には互いに寄り添うように並んで何かを話しながら、あるいはじゃれあいながら。時には、けんかをしたのか、十メートルほど距離をとって▼小学生のほとんどはバスで登校するので、登下校時の前述のような刻を過ごすことは少ない。少し寂しい気がする▼先日、バスから泣きながら降りてくる小学1年の男の子がいた。すぐに柴田養護教諭が駆け寄って、「大丈夫よ」と慰めている。すると、後から降りてきた小学4年の女の子が、優しく肩を抱いて何事か語りかけながら玄関へとうながす。その行動はごくごく自然で、背の高さの高低とランドセルの色のコントラストが朝の風景に溶け込んでいた。二人は姉弟ではない▼よそのばあちゃんから「今から学校ねえ、気をつけてねえ」と声をかけられる。学校帰りに顔見知りのおじちゃんから「とうもろこひ(し)ばかめ(を食べなさい)」ともらう。「学校は楽ひ(し)かか?」とたずねられる。私が知らないだけで、こんな光景が今も岐宿のあちこで見られるのだろう▼岐宿小に続き、来年度から岐宿中も「ミニユニティ・スクール」となる。「地域総ががり」で子どもを育てる」というのがその主旨だろう。岐宿町ならばできそうだが▼ちなみに、泣きながらバスから降りてきた1年生。お母さんと別れづらかったそう。

子どもに伝えたい「いい言葉」

じゃんけんで負け、GKをつとめた十歳あの日から二十五年、今も変化、進化する姿を思い描いています。

V・長崎のゴールキーパー徳重健太選手。置かれた場所で、できることを黙々と続け、「変化」しようと思いつけています。